7月14日から16日の3日間、短角牛の里と都市を結ぶ集い（同実行委員会主催）が開催。この交流は昭和58年から続いており、今年は第30回の記念の年。ツアーには首都圏在住の大地を守る会会員ら約40人が参加しました。

一行は14日、山形町内の市短角牛基幹牧場で放牧されている短角牛への餌付けを体験。温かい日差しを浴び、のびのびと草を食べる牛の姿を間近にし、生産地への信頼を高めたようでした。平庭高原に場所を変え、記念闘牛の後に行われた歓迎セレモニーで下館進実行委員会会長は「これからも交流を深め、将来へつなげていきたいです。放射性物質の影響で今年は放牧ができないのではと心配しましたが、しっかりと牧草の検査を行い放牧ができています。安全はもちろん、安心して食べられるものを提供していけるよう努力していきます」と笑顔で歓迎しました。

15日の午前中は内間木野外体験施設周辺でカヌーやシャワークライミングなど山形町の自然を体感した一行。午後に行われた車座トークでは、山形村元村長の小笠原寛氏や短角牛生産者の下舘実行委員会会長を囲み、産地の思い、生産者の思いなどを語り合いました。

迎えたツアー最終日の16日。この日はあいにくの雨模様でしたが、一行はバッタリー村でゆかべ作りを体験したほか、記念植樹を行いバッタリー村内の斜面に栗の苗木11本を植えました。その後一行は、生産者らと昼食をとり、交流を深めました。

11回目から参加している小柳三恵子さんは「自分たちにできることは、短角牛を消費し、おいしさ、素晴らしさを伝えていくこと、そしてまた山形町を訪れること。今後も交流を続けていきたいです」と笑顔で話していました。

【7月14日】牧場見学、歓迎セレモニーなど

13:00〜	エリート牧場見学・給餌体験
15:30〜	記念闘牛観戦
17:00〜	歓迎セレモニー（平庭高原レストハウス）
18:00〜	平庭で生産者と消費者の交流会
19:30〜	記念打ち上げ花火

迫力の取り組みを観戦する参加者

民泊先の家族に「よろしくお願いします！」

藤末 歩（あゆむ）くん（大田区・小学４年）

闘牛かっこいい

闘牛は牛を押したり、回転したりするのがかっこよかったです。初めて触った牛は温かく、頭の方はざらざらで、後ろの方はなめらかでした。

【7月15日】内間木での体験、民泊

9:00〜	内間木に移動し３班に分かれて、シャワークライミングなどを体験
12:15〜	地元の材料を使った昼食
13:00〜	木工、ツリーイングの体験
15:00〜	生産者と消費者の車座トーク
16:40〜	民泊先へ移動

シャワークライミングでは天然の滑り台に挑戦

あれ〜？うまくいかないなぁ。

林（はやし） 志生（しお）さん（横浜市）

何度でも楽しい

べこツアー参加は４回目です。シャワークライミングはその都度水や水辺の様子が変わるので、何度体験しても楽しいですね。

【7月16日】ゆかべ作り、記念植樹、帰路へ

10:30〜	バッタリー村到着。ゆかべ作り体験
11:30〜	栗の苗木を記念植樹
12:00〜	郷土食やゆかべで昼食
13:00〜	お別れ会
13:30〜	バッタリー村出発

ゆかべは丁寧に釜に入れようね！

植樹を終えてパシャリ

小木曽 隆子さん（上）（豊島区）
小木曽 恵（めぐみ）くん（下）（小学３年）

短角牛を見に

短角牛を子どもにも見せたかったのと、私自身見たことがなかったのでツアーに参加しました。いろいろなプログラムがあり私も子どもも楽しめました。

山形町と大地を守る会との関わり

山形町と大地を守る会との関わりは昭和56年までさかのぼります。

輸入飼料に頼らず、放牧を主体として育てられている牛を探していた同会が日本短角種研究会から紹介されたのが山形町（当時山形村）の日本短角種とその生産指導者である木藤古徳一郎氏でした。

同会の思いを理解した山形町の生産者は、昭和56年12月、同会に３頭の牛を出荷し以後、短角牛の取引が続きます。

取引開始から２年後の昭和58年、生産者と消費者の交流「山形村産地交流ツアー」の第１回目が開催されました。最初は消費者との交流に戸惑った生産者たちも、回を重ねる度に打ち解けていきました。久慈市と山形村の合併に伴い「久慈市山形べこツアー」と名称を変更し現在まで生産者と消費者の交流は続いています。

市職員の採用試験

採用予定人数・受験資格
※例年より、資格年齢を高くしています。

一般事務Ａ　７人程度

短期大学（高等専門学校含む）または大学の卒業者（翌年３月卒業見込み含む）で、昭和52年４月２日から平成５年４月１日までに生まれた人

一般事務Ｂ　４人程度

中学校または高校（各種専門学校含む）の卒業者（翌年３月卒業見込み含む）で、昭和56年４月２日から平成７年４月１日までに生まれた人　※一般事務Ａの受験資格者を除く

土　　木　２人程度

昭和52年４月２日から平成７年４月１日までに生まれた人

建　　築　１人程度

一級建築士または二級建築士の免許を持つ昭和42年４月２日以降に生まれた人

保　育　士　１人程度

保育士の資格を持つ昭和52年４月２日以降に生まれた人

試験日時・会場

▶**１次試験**…９月16日(日)
受付：９時30分まで
久慈市役所

▶**２次試験**…１次試験合格者に通知します

試験内容

▶**１次試験**…教養試験、作文試験、職場適応性検査、※土木、建築、保育士は専門試験あり

▶**２次試験**…人物試験、身体検査

申込方法

申込用紙は総務課で配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して120円切手を貼った返信用封筒（Ａ４判）を同封してください。

申込期限

８月17日(金)。郵送の場合は同日の消印有効です。

総務課　☎52－2112
〒028－8030
久慈市川崎町1－1